

男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

Q 3 1 日本の男女平等順位は、144か国中111位と昨年よりまた順位を落としたのはなぜでしょうか。

A 3 1

世界経済フォーラムが平成28年10月、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数を発表しました。

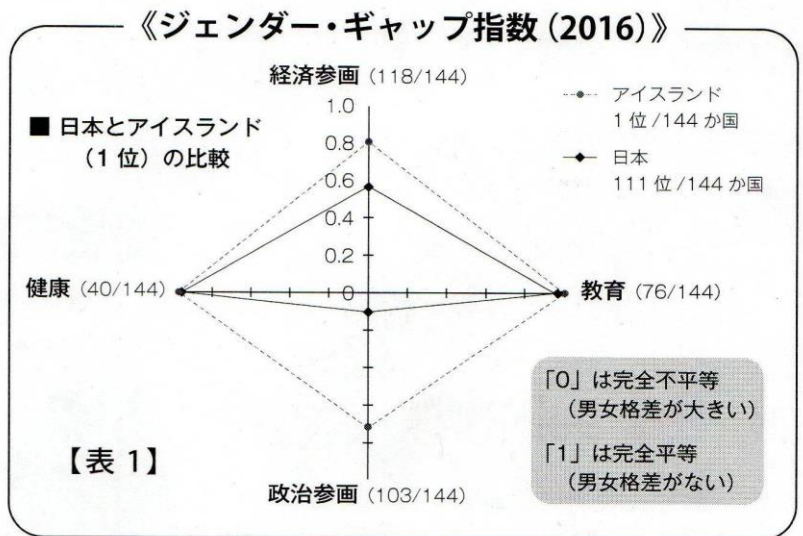
この指数は、経済、教育、政治、保健の4つの分野のデータから作成されています。2016年の日本の順位は、144か国中111位（2015年は145か国中101位）でした。

日本の場合、女性の労働参加率や管理職が少ないために経済分野で118位、政治分野でも女性議員が少なく103位となっており、著しい男女格差が見られます。

健康と寿命の評価が高く、健康分野は40位、教育分野では識字率や中等教育への進学率が世界1位と評価される一方、高等教育（大学以上）への進学率の男女格差が大きいため、76位にとどまっています。【表1】

ここ数年の順位では、【表2】と年々順位を落としています。これは世界では男女格差が徐々に改善されているにもかかわらず、日本では変わらず、または後退していることを表しています。

性別で役割を決めることを肯定する生き方を改め、個性と能力を十分に発揮できるワーク・ライフ・バランスへの取組を推進することが急務であります。



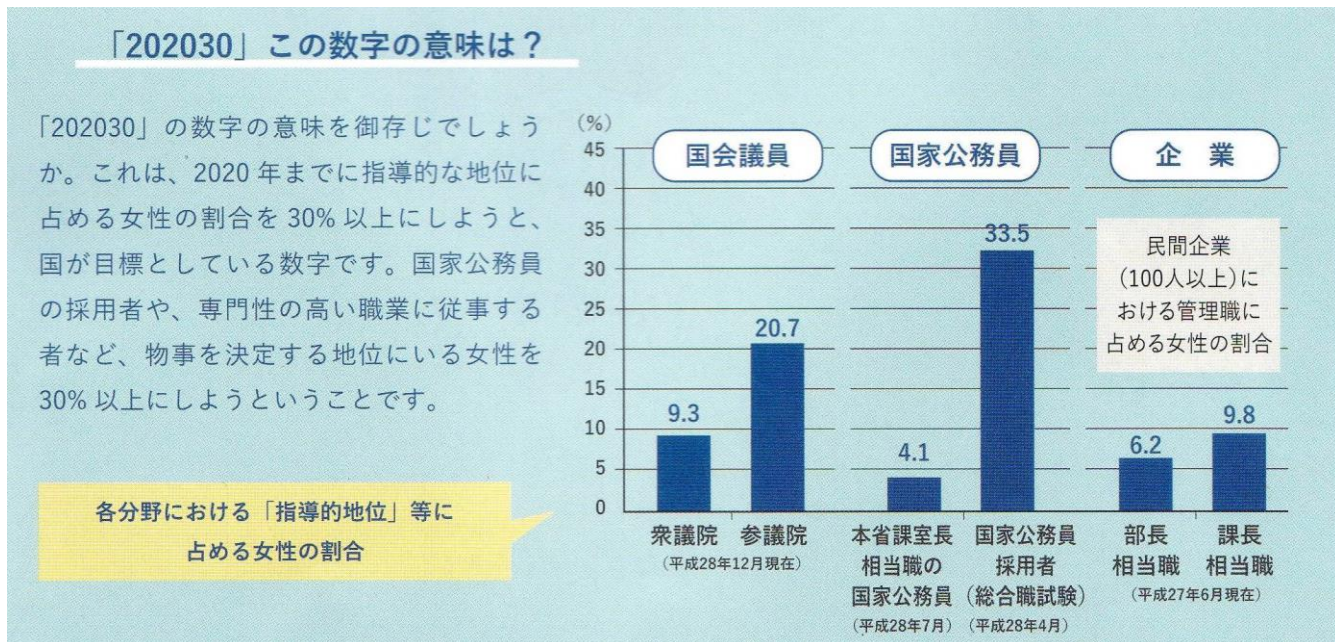
《日本の男女平等順位》

2012年 (H24)	101位 135か国
2013年 (H25)	105位 136か国
2014年 (H26)	104位 142か国
2015年 (H27)	101位 145か国
2016年 (H28)	111位 144か国

【表 2】

Q 3 2 「202030」この数字の意味をどう考えたらいいのですか。

A 3 2



出所 内閣府「女性の政策・方針決定参画状況調べ」(平成29年1月)より作成